

患者さんと奏でる 医療のハーモニー

Yokane・よかね^ね音

久留米大学医療センター

私たちの理念 一心が通い、信頼される医療—

2025
新春号
No.15



われら外来看護師 ♥ 目配り・気配りをモットーに!! 地域とつなげる看護の輪



皆さまにとって「よかね! ~Yokane~」と
思っただけの病院を目指しています。

新年のご挨拶



病院長 恵紙 英昭

新年明けましておめでとうございます。

あつという間に芽が成長していく「甲辰（きのえ・たつ）」から、
努力を重ね物事を安定させていく「乙巳（きのと・み）」の幕開け
です。「乙（きのと）」は、陰陽五行説では植物が成長し広がる意味があり、
協調性や調和を保ちながら進み、「巳（み）」は蛇を表していますが
古来より神聖な生き物として、医療、治療、再生のシンボルでもあります。
医療センターのスタッフ全員が「乙巳（きのと・み）」の気を持って患者さんに寄り添い、
地域医療に貢献できるように成長し、安定し温かく明るい病院を運営していきたい
と思います。皆さまのこの一年のご多幸を願っております。



謹んで新年のお慶びを申し上げます。地域の医療・介護施設の皆さま、地域住民の皆さまには、医療センターへのご理解ご協力を頂き厚く感謝申し上げます。

昨年は、医療センター開設30周年を迎え記念講演や式典が執り行われ、沢山の
お祝いや励ましの言葉を頂いた1年でした。改めて、皆さまに支えられ愛されて
歴史を紡ぐことができた事に感謝の気持ちで一杯になりました。今後も皆さま
の期待に応えられるよう、地域包括ケアシステムの中核としての役割を果たすべく、
様々なことに挑戦していきたいと思います。より地域医療における連携を強化し、
地域全体の看護サービスの質向上に貢献することや、超高齢者社会における
在宅医療との連携強化に努めてまいりたいと思います。

本年も地域に根差した病院を目指し「心が通い、信頼される医療」を提供して
まいります。どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長 原崎 礼子



事務部長 林田 俊彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

長かった新型コロナウイルス感染の蔓延期、いわゆるコロナ禍をようやく脱した
感のある昨年でしたが、当院にとっても開設30周年の節目を迎え、
記念事業の開催のほか、コンビニの誘致、休憩室の整備に加え、
医療連携センターの拡張改修、入退院支援窓口の設置、さらには、
訪問看護（みなし）の開始など患者さんに寄り添い、安心して利用できる環境の整備に努めてまいりました。
地域住民の皆様や地域の医療機関の皆さまには、当院の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、今年もより一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



久留米大学医療センターの 災害支援活動が表彰されました

令和6年元日に発生した能登半島地震に際し、当院より7名の職員をJMATとして派遣しました。その活動が認められ、日本医師会より感謝状が贈られました。これからも、地域はもちろん各地の災害における医療支援に貢献してまいります。



* JMAT（日本医師会災害医療チーム）：被災者の生命と健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療再生の支援を目的とする。

医療連携センターオープンのお知らせ

医療連携センター センター長
内藤 美智子（前列中央）

平成15年4月に地域の先生方、各種医療機関との連携を密にし、患者中心の医療の円滑化およびサービス向上を目的に「医療連携室」が開設されました。令和6年4月には事務部の「医療連携推進室」と一体化し、「医療連携センター」へ名称を変更いたしました。同年10月には、医療連携センターの拡張工事が終了し、新たに「入退院支援窓口」が開設されました。これは医師、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、事務職などの専門職が、入院前に患者さんの身体的・社会的・精神的に心配な面、栄養状態、服薬状況等を把握し入院中に行われる治療・検査や入院生活などの説明を行うことで、患者さんに安全で快適な入院生活を送って頂くことを目指しています。これからも地域の皆さま、医療機関の皆さまに信頼される医療機関として努力していききたいと思います。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

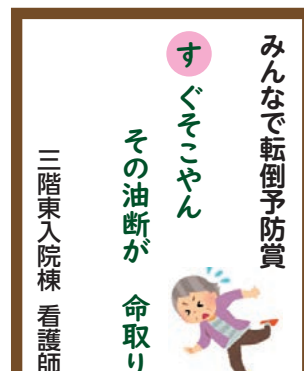


医療安全推進週間の活動

医療安全対策室 主任看護師 田中 勝

令和6年11月24日(日)～11月30日(土)は、医療機関や医療関係団体等における医療安全の取り組みの推進を図り、また、これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めて頂くことを目的として、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」として定められています。

当院では例年、転倒予防を題材とした標語を募集し、職員、患者さんへの注意啓発として活用を行っています。今回、優秀賞として当選された標語をご紹介します。医療安全や転倒について考えるきっかけとして、標語を活用してください。





地域連携ネットワーク 医療法人 布仁会 介護老人保健施設 ヴィラ くしはら

〒830-0003
久留米市東櫛原町 1356
TEL : 0942-30-0100

理事長 村岡 達也

私の父が東櫛原町に外科の有床診療所を開業し50年が過ぎました。入院ができる有床診療所は世の中から無くなりつつありますが、①介護施設では困難な、救急病院や中核病院の入院後のリハビリや経過観察 ②癌患者様や認知症、老衰の方のターミナルケア ③外傷や肺炎、消化器疾患等急性期の加療など、様々なニーズに対応しています。また介護老人保健施設を併設し高齢者の方が住み慣れた環境で生活を維持できるようリハビリを行い、本人やご家族の希望に沿って在宅復帰や在宅生活支援を行っています。これからも久留米大学医療センターと連携し「地域の医療や介護のかけこみ寺」となれるようスタッフ一同努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



寒い冬にぴったり！ほっこりレシピ

寒い日が続いていますね。今回はぜひ冬に食べていただきたい旬の鮭と玉ネギを使ったレシピをご紹介します。

～焼き鮭とひじきの炊き込みご飯～



材料（2人分）

米 1合
塩鮭 1切れ
乾燥ひじき 10g
人参(中) 1/3本
しいたけ 2～3枚
酒 大さじ1
みりん 大さじ1
しょうゆ 大さじ1
だし汁 180ml
いりゴマ(白) 適量

作り方

- ①塩鮭はフライパンで焼いておく。
- ②人参、椎茸は千切り、乾燥ひじきは水で戻す。
- ③米をとき炊飯器に入れ、だし汁、酒、みりん、醤油を加えて軽く混ぜる。
- ④人参、しいたけ、ひじき、焼いた塩鮭をのせ「炊き込みモード」で炊飯する。
- ⑤炊き上がったたら鮭をほぐし、しっかり混ぜ合わせる。盛り付けたらゴマをかける。

栄養価(1人分)	炊き込みご飯	味噌マヨ焼き
エネルギー(kcal)	454	232
たんぱく質(g)	17.1	5.5
脂 質(g)	7.4	13.0
炭水化物(g)	81.1	22.4
食塩相当量(g)	1.7	0.9

～丸ごと玉ネギの味噌マヨ焼き～



材料（2人分）

玉ネギ 2個
味噌 大さじ1
マヨネーズ 大さじ2
とろけるチーズ 適量
乾燥パセリ 適量

作り方

- ①玉ネギの皮をむき中心まで十字に切れ込みを入れる。
- ②耐熱容器にのせ、ラップをかけレンジ600Wで7分加熱する。
- ③味噌とマヨネーズを混ぜ合わせ、玉ネギの切れ込み部分にかける。
- ④チーズを上のにのせオーブントースターで焼き色をつけ、好みで乾燥パセリをかける。



管理栄養士 窪田 祐子(左)
副主任調理師 笠 政広(右)



聞く・効く！元気のツボ



みなし訪問看護開設

医療センターでは、令和6年7月より「みなし訪問看護」を開設しました。みなし訪問看護とは、医療センターの医師の指示により、医療センターの看護師が、医療センターを受診している患者さんのご自宅へ訪問し、看護サービスを提供するものです。体調チェック、入浴などの日常生活の援助、お薬の管理、インスリン注射、傷の処置などの医療的処置、介護に関するご家族の困りごとへの対応など、病院と同じ看護ケアをご自宅での生活状況に応じて提供していきます。

住み慣れた地域の中で穏やかに暮らし続けることができるように、ご利用者さんの「いのち」と「生活」を支え「思い」に寄り添い、心を込めてご自宅へ医療センターの看護と安心をお届けしたいと思っています。

訪問看護管理者 **大北 美紀**（中央）



～文医連携「ほとめきプロジェクト」学生からのサポート～ 「みなし訪問看護」リーフレット

令和6年7月1日から新たな地域医療サービスとして「みなし訪問看護」がスタートしました。この案内リーフレットを「ほとめきプロジェクト」の学生4名が制作しました。「ほとめきプロジェクト」とは、医学部や病院を持つ久留米大学の強みを生かし、久留米大学医療センターと文学部情報社会学科の学生が連携し、患者目線で様々なサービスを提案する文医連携の課題解決型プロジェクトです。

「心が通い、信頼される医療」をいつも笑顔で実践されている看護師の皆さんの温かさを表現できるよう、看護スタッフの似顔絵やキャラクターなど全て学生たちがオリジナルでデザインしました。看護部キャラクター「ほっとポポ」が、ホッとするやさしさと安心のお届けを応援しています。



文学部学生が制作したリーフレット

文学部情報社会学科教授 **江藤 智佐子**（上段右端）



久留米大学医療センター
KURUME UNIVERSITY MEDICAL CENTER

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

TEL : 0942-22-6111 (代)
<http://iryo.kurume-u.ac.jp>

発行所 久留米大学医療センター広報委員会
委員長 廣松 伸一



久留米大学医療センター 外来診療一覧表

令和7年1月1日現在
最新の情報はホームページ等でご確認ください。

受付時間：8:30～11:00、13:30～15:00
(午後は予約診療のみ)
診療日：月～金
麻酔科：術前診療のみ(予約制)
休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)
代表電話：0942-22-6111

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療科	川口 勝輝	向原 圭	向原 圭	向原 圭	黒岩 望
プライマリ・地域医療 ヘルスケアセンター		内藤 美智子		内藤 美智子 弥永 浩 (乳腺外来・第1・3のみ予約制)	
消化器内科	井出 達也 江森 啓悟	井出 達也 緒方 啓	井出 達也 宮里 けい	井出 達也 宮里 けい 藤田 博正	緒方 啓 江森 啓悟
循環器内科 (睡眠時無呼吸外来) (脂質異常症外来)	甲斐 久史 佐々木 基起 大地 祐輔	甲斐 久史 翁 徳仁 大地 祐輔	甲斐 久史 青木 裕司 岩城 彰浩	翁 徳仁 佐々木 基起 岩城 彰浩	翁 徳仁 青木 裕司 (佐々木 基起)
禁煙外来	※薬剤出荷制限につき当分の間休診				
糖尿病センター	和田 暢彦 春田 寛子	和田 暢彦 (予約再診のみ)	春田 寛子 四方 雅人	和田 暢彦 春田 寛子 廣松 雄治 (甲状腺外来)	和田 暢彦 中村 由育
小児科	大津 寧 山下 大輔 田中 聡子(午前)	大津 寧 牛島 高介 (午前・完全予約制)	大津 寧 山下 大輔	山下 大輔 田中 聡子(午前)	大津 寧 山下 大輔
(専門外来)					小児成人病
精神科 (午前) (予約制)	土生川 光成 (精神科外来/睡眠外来・初診)		土生川 光成 (再診)	山下 裕之 (もの忘れ外来・初診)	土生川 光成 (精神科外来/睡眠外来・初診) 音琴 佐和子 (リエゾンのみ)
(午後) (予約制)				土生川 光成 (再診)	土生川 光成 (リエゾンのみ)
先進漢方 治療センター (午前) (予約制)	恵紙 英昭 (漢方精神科・内科)	恵紙 英昭 (漢方精神科・内科) 田中 聡子 (漢方小児科)	上松 章子 (女性外来・漢方内科・循環器科)	本岡 真紀子 (漢方精神科・内科・第2・3・4・5)	恵紙 英昭 (漢方精神科・内科) 後藤 薫 (漢方婦人科・第1・3) 家入 彩嘉 (漢方精神科・内科・第2・4)
(午後) (予約制)	田中 聡子 (漢方小児科)	田中 聡子 (漢方小児科)	恵紙 英昭、田中 聡子 (フクロウ外来・第1・3) 山下 大輔 (漢方小児科) 清川 千枝 (漢方皮膚科・第3) 沈 龍佑 (漢方精神科・内科・第1) 黒川 慎一郎 (漢方泌尿器科・第1・不定期)	亀尾 順子 (女性外来・漢方内科・内分泌科) 田中 聡子 (漢方小児科) 薬師寺 和昭 (漢方内科・第2・4)	
整形外科・ 関節外科センター (午前)	大川 孝浩 久米 慎一郎 田淵 幸祐 原口 敏昭 木内 正太郎	後藤 昌史 大園 宏城 江崎 佑平 古森 元崇	大川 孝浩 大園 宏城 原口 敏昭 森山 弘朗 林田 一友	田淵 幸祐 木内 正太郎 山下 明浩	後藤 昌史 久米 慎一郎 江崎 佑平 森山 弘朗 西田 一輝
(午後) (予約再診)		江崎 佑平 (足の外科予約のみ) 樋口 富士男 (予約再診のみ)	大川 孝浩 (第1のみ予約制)	田淵 幸祐 木内 正太郎 山下 明浩 稗田 寛 (第2・予約制)	
リハビリテーション科 (予約制)	名護 健	荻野 美佐 (第4)	柳 東次郎(第1) 馬場 敦子(第2・4) 兼行 祐司(第3・5)	牧 悠之	兼行 祐司
フットケア・ 下肢血管病センター	非常勤医 (形成外科・予約制)	廣松 伸一 (血管外科・予約制)		廣松 伸一 (血管外科・予約制) 非常勤医 (形成外科・予約制)	井野 康 (形成外科・予約制)
泌尿器科	末金 茂高	末金 茂高		伊東 直城	伊東 直城
放射線科	東南 辰幸	東南 辰幸 (午前) 非常勤医 (午後)	東南 辰幸	東南 辰幸	非常勤医 (午前) 東南 辰幸 (午後)
皮膚科		非常勤医 午前のみ		非常勤医 午前のみ	
眼科				非常勤医 午前のみ (完全予約制)	

【看護外来】

看護外来時間：13時30分～16時 (事前にご連絡頂ければ、希望の時間で対応は可能)

診療科名	月	火	水	木	金
心不全看護				本山 公子 (第2・4週)	
がん看護(緩和ケア)			田代 明美 (第1・3週)		
認知症看護				中島 純子 (第1週)	
フットケア					フットケア指導士 フットケア外来看護師